

(社会) 科のヒット授業案

教科名 社会(地理)

単元・題材名 世界の気候帯

授業のねらい・目標

- ・世界の地域による気候帯の違いについて理解する。
- ・気候帯とグラフ(雨温図)の関係を読み取れるようにする。

大まかな流れ

【基礎の課題】

- ① 気候の違いがなぜおこるのか、その要因について考える。(グループで考える)
 - ・緯度の違い(南北の違い)にはすぐ気づくと思われるが、地形の違いや季節風の影響、海流の影響など様々な要素が交じり合っただけで気候の特色が生まれることを理解させたい。
- ② 世界地図をみて、気候帯の分布について確認する。(個人)
- ③ 白地図による色塗り作業で、気候帯分布の理解を深める。(個人)

【ジャンプの課題】

- ④ 5種類の気候グラフ(雨温図)をみて、それぞれのグラフには、気温や降水量にどのような特色が見られるかを、グループで話し合い確認する。(グループの作業)
 - ・気候の違いは基本的に降水量の違いと気温の違いであることを理解させた上で、それぞれの気候帯の特色をグラフから読み取る力を育てたい。
- ⑤ 身近な大津市(温帯)の雨温図を各自が作成し、世界各地の雨温図と比較する。
- ⑤ 気候帯の分布と特色、雨温図との関係をまとめる。

この授業の見どころ(学び合いをどう生かすかなど)

- ・グラフを読み取りそこから特色を考える作業をグループで行うことにより、気候帯とグラフの関係についての生徒間での深まりを期待したい。

授業を担当する人

西本 仰

